

諸橋轍次博士の志を継承
漢字文化理解力検定と漢詩大会を実施

三条市名誉市民で「大漢和辞典」の編者である諸橋轍次博士の志を継承し、漢字文化の振興を図るため、「第7回諸橋轍次記念漢字文化理解力検定」と「第16回諸橋轍次博士記念漢詩大会」を実施します。現在、受検者と漢詩を募集中です。

【本件のポイント】

- 諸橋轍次博士の志を継承し漢字文化の振興を図るため、「第7回諸橋轍次記念漢字文化理解力検定」と「第16回諸橋轍次博士記念漢詩大会」を実施
- 現在、漢字文化理解力検定の受検者、漢詩大会の漢詩を募集中

【本件の概要】

1 第7回諸橋轍次記念漢字文化理解力検定

(1) 漢字文化理解力検定

漢字文化に関する総合的な知識と理解力を問うものです。漢字の読み書きや熟語の意味用法に加え、文字や語彙にまつわる事項も含まれます。得点に応じて段位等級を認定します。

- ア と き 10月6日(日) 午前11時～正午
イ 検 定 料 一般3,000円(学生以下無料)
ウ 応募期限 7月31日(水) 当日消印有効
エ 応募方法 募集要項を確認の上、応募してください。

(2) 記念講演

「大漢和辞典」は、辞典の歴史の中でどのように位置づけられるのか、時代ごとの辞典の特徴やその編さん意図などを紹介しながら漢字辞典がどう発展してきたのかを講演いただきます。

- ア と き 10月6日(日) 午後1時30分
イ 講 師

(公財)日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所 主任研究員
田中 郁也 氏

- ウ 演題 「漢字辞典のたどってきた道」

2 第16回諸橋轍次博士記念漢詩大会

現在、漢詩を募集しています。受賞された方に、11月の表彰式・流觴曲水りゅうしょうきょくすいに参加いただきます。

(1) 応募区分

一般の部、学生の部、招待の部(新設)

※ 招待の部は、第15回大会（令和5年度大会）において最優秀賞、優秀賞を受賞された方が対象です。

(2) 応募条件

七言絶句で、自由題、ふりがな付きの書き下し文を併記した未発表作品で、一般の部、学生の部は一人2首まで、招待の部は一人1首まで応募できます。

(3) 応募料 一般の部1首1,000円（学生の部、招待の部は無料）

(4) 応募期限 7月31日（水）当日消印有効

(5) 記念講演

ア とき 11月9日（土）午後2時～3時30分

イ 講師 亜細亜大学名誉教授 矢嶋 美都子 氏

ウ 演題 漢詩の技法－詩語のイメージを活用する

(6) 表彰式・流觴曲水

とき 11月10日（日）午前10時～午後1時

※ 会場は、いずれも諸橋轍次記念館です。

※ 1(2)と2(5)の聴講、(6)の観覧は申込み不要です。

3 その他

諸橋轍次博士生誕記念月間イベントとして、「諸橋轍次博士 旧師ゆかりの地巡り（バスツアー）」を実施します。

(1) と き 6月30日（日）午前9時～午後1時

(2) コース 諸橋轍次記念館～燕市長善館史料館～中之口先人館

(3) 定員 先着20人

(4) 参加費 400円

(5) 申込方法

ホームページ掲載の行程表から乗降所を確認の上、申し込みください。



諸橋轍次記念館ホームページ

■諸橋轍次（1883-1982年）

三条市（下田地域）で誕生。父の影響で幼少期から漢学に触れ、教師を目指して東京高等師範学校に入学。卒業後は教師をしつつ漢学の研究を深め、当時の文部省から中国留学を命ぜられる。帰国後、大漢和辞典の編さんを始める。当時の宮内省から皇太子明仁親王殿下（現在の皇陛下）への漢学の御講義を委嘱され、浩宮様（現在の天皇陛下）御誕生の際にはお名前選びの一人になる。昭和35年までに大漢和辞典全13巻を刊行。昭和37年下田村名誉村民に選ばれる。昭和40年文化勲章、昭和51年勲一等瑞宝章を受章。

【問合せ】 三条市市民部 生涯学習課 生涯学習推進係 熊倉
電話：0256-47-0048